



外ラチに沿って出走馬たちが歩く



コース奥に高層ビルが見える
ゴールドコースト競馬場



一般エリアに壁のあるスタンドはない
サンシャインコース競馬場

世界旅打ち気分

●第42回・クイーンズランドの競馬場2つ

須田鷹雄

写真のカラー版は
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>の
#グリーンファーム会報#2022年2月号
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

ストに不動産を持っている人がたくさんいる)を呼び込む試みなどをしており、春節の開催ではスタンボや「ゴール板」に中国風の装飾が施される。競馬場で春節を祝うのはドゥーベンでも見たことがある、中国の存在感が高まっているのを感じる。

スタンドは構造物としては古いのだが中がよくリノベーションされており、他場の馬券を買って過ごすときなども快適だ。一般客用の飲食売店も十分に揃っている。客層は着飾つてくる人からTシャツ、短パンまでかなり幅があるが、一

なしなのだが、
話を戻して「ゴールドコースト競
馬場」。クイーンズラーバ州の競馬
場はブリスベンにあるドーウンベン
競馬場といー・グルーム競馬場
が最も格上で、それに次ぐ存在が
ゴー・ルド・コースト。競馬の格式と、
リゾート地らしいカジノアルさの両
方を備えた競馬場だ。

いが、ガラス張りだと生観戦していくのに臨場感がいまひとつといふ面もある。

リズベンから北へ一時間くらいのところにある。

この競馬場はヨーロッパ、スタンダードらしいスタンドが無い。メンバーや年間会員用の小さなスタンダードはあるのだが、一般的のファンが見るエリアには壁のある建物が無いのだ。屋根とそれを支える柱だけがある。

年間を通じて温暖な土地なので、そのような作りでやつていけるといふことになったのだろう。凍えるような寒い日というのは無い。一方で夏の日差しは厳しいので、屋根だけはどうしても作らなければならぬ。

日本も昔はスタンドといつても一つ側はオープハ变成して、もう一つ側は多かつたしいまでもそういうスタンドはあるが、気が付けばガラス張りが多くなっている。日本は冬の

今日はオーストラリアのクイーンズランド州にある一つの競馬場を紹介しよう。

(繫駕競走)の競馬場である。ゴルドコーストパークランズというターフマニアが始めたと思つ。前だつたと思つ。

20年近く前に一度行つた」とがあるのだが、当時写真を撮っていたのが残念だ。しかもその後この競馬場は廃止(正確には休止)になつてしまつた。

ゴールドコーストパークランズはひとつのスタンダードに対してハーネスのコースとグレイハウンド(ドッグレース)のコースが別々にあるという施設だつたのだが、いまは跡形もない。

般席ならどれだけカジュアルでも問題ないだろう。暑いのを我慢してまで盛装する必要はない。
観戦は外ラチ沿いがおすすめ
レースが近く見えるというのももちろんだが、本馬場入場とレース終了後は外ラチ沿いの通路を出走馬が歩く。そこで写真を撮るアソブも多い。馬が近くを歩くときはリテンションが上がるというの。日本にはない間合いなのでせめて体験してみてほしい。

オーストリアではパドックを
ウンディングヤードと呼ぶが、その
下の部分にあって、それを囲むよ
うにひな壇式のベンチがある。この
競馬場が大混雑になると、そこはそ
うないとと思うのだが、少し混
だところでパドックの様子は良く
見えるようになっている。シンプル
なようでいろいろと計算さ
れているよい競馬場だと感じる。
大屋根の下の観戦スペースに
は、たくさんのテーブルと椅子が
用意されている。テーブルのサイズ
はかなり大きく、食べ物も飲み物
を広げても窮屈さは全くない。一
般エリアの売店というかカフェもな
かなかレベルが高く、イカのフライ
がおいしかったことを覚えている
地元客の中には競馬というよりも
宴会メインになっている人たちもい
る。

その点、「壁なし観戦エリア」は気持ちよい風も吹き抜けるし、馬の姿は直接見えている。実際の距離よりも馬が近くに感じられる特

でいまから新しい競馬場を作る
というきつかけはつかめないと申
う。

開場から25年で廃止になる競
馬場といつのもなかなか悲しい話
だが、個人的に悔やまれるのは記
録を残していなかつたことだ。訪問
したときのプログラムはあるのだ
が、写真が一枚もない。当時は海
外に慣れておらず、競馬場に行き
来するだけで精一杯だった。このパ
ークランズでの経験があるから
そ、いまはどの競馬場に行くにも
一期一会、気合いを入れて旅打ち
すると決めている。

新らしい施設だったようなのが、2007年に「病院作るんで」でグレイハウンドが立ち退かされ、2013年には「モンウェルマーズ(スポーツの大きい大会の選手村作るんで)」でハーネスのほうも立ち退かされてしまった。それぞれ新施設を作るという話もあったようなのだが、グレイハウンドは動物愛護団体の反対運動がすごいので、受け容れる自治体が見つかることはまずないだろう。ハーネスのほうは近隣の2つの競馬場で代替開催が行われてい

特等席のようなパラノルが暑さのために利用されない」とがしばしばある。

日本ではあまり知名度のない競馬場だが、いつもと違う競馬場を味わうという意味ではおすすめできる競馬場。機会があつたらぜひ訪問いただきたい。

もうひとつ紹介する競馬場は、「ゴーランドコースト競馬場」。ゴーランドコーストはブリッスベンから南に1時間ほど行ったところにあり、高級リゾート地として有名だ。ゴーランドコーストにも空港があり、ここのみだが日本からの直行便もある。リッチな高齢者が引退後の生活を楽しむ土地として有名で、日本人居住者もそれなりにいる。筆者もできる」となら老後はオーストラリアで過ごしたいと田舎が高い。日本食材のス

トが何組か用意されている。ただこちらは夏の盛りだと利用されないことが多い。日差しが強すぎでパラソルでは防ぎきれないのでも